ワクチン USB2 専用 定義ファイル更新支援ソフトウェア

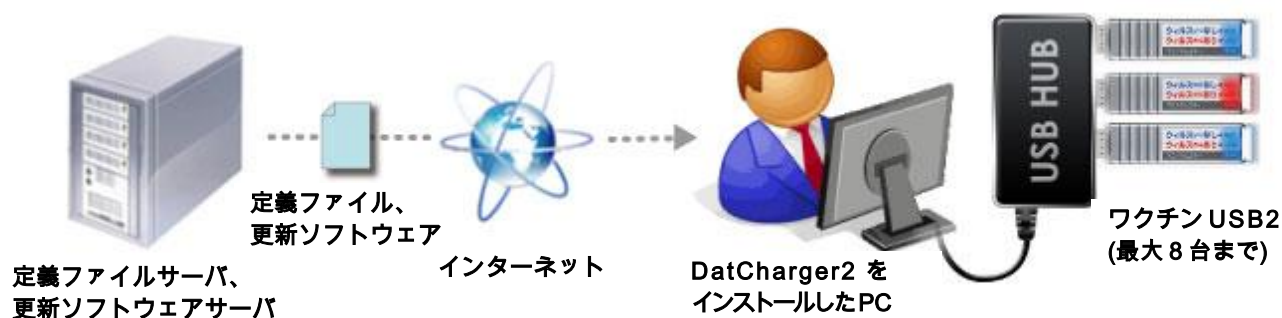
ワクチン USB DatCharger2

取扱説明書

この度は、ワクチン USB DatCharger2（以下、本製品と表記します）をご購入いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の導入、使用方法について説明しています。本製品を正しくご利用いただくために、取扱説明書を必ずお読みください。

1 本製品について

本製品は、PC に接続された最大８本のワクチン USB2 のアプリケーションおよび定義ファイルを更新するソフトウェアです。内蔵されたタイマー機能によって任意の時間にワクチン USB2 のアップデートを行うことができるので、ワクチン USB2 を運用する前にアプリケーションおよび定義ファイルを最新の状態に保つことができます。

※ 本ソフトウェアはワクチン USB2 専用のソフトウェアです。ワクチン USB1（2015 年３月末サポート終了）にはご使用できませんのでご注意ください。

2 パッケージ内容

本製品のパッケージには次のものが含まれています。はじめに、すべてのものが揃っているかご確認ください。万一、不足品がありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- □ ワクチン USB DatCharger2（CD−ROM）・・・・・・・・・・１枚
- □ ソフトウェア使用許諾約款(紙)・・・・・・・・・・・・・・・・・１枚
- □ ワクチン USB DatCharger2 プロダクトキー （紙）・・・・・・・１枚
- □ ユーザ登録のお願い（紙）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１枚

----

3 対応環境

動作環境（*1*2）	Pentium4 1GHz 以上の CPU を搭載した PC USB インターフェースを標準搭載した PC メモリ１GB 以上搭載した PC CD-ROM ドライブが認識されること ワクチン USB が定義ファイルをアップデートできる環境であること
対応 OS（*2）	Windows ７ SP1（32bit/64bit）日本語版
対応ユーザアカウント	コンピュータの管理者（Administrator）
対応デバイス	ワクチン USB2 ver270(ソフトウェア バージョン)以上 型番：ULD-VAU21A/ULD-VAU23A/ULD-VAU-25A ※ULD-VA100MA はワクチン USB2 ソフトウェアにバージョンアップしていただければ使用可能です。
最大対応デバイス接続本数	８本
推奨外付け USB ハブ	セルフパワーUSB2.0 ハブ 10 ポートタイプ(AC アダプタ付) ・バスパワーUSB ハブの場合、電力供給不足でワクチン USB が使用できない場合があります。 ・USB ハブ同士の接続については、保証いたしません。

*1　拡張ボードで増設した USB インターフェースには対応していません。
*2　USB Mass Storage Class ドライバ、CD-ROM ドライバがあらかじめ組み込まれている必要があります。

・CD-ROM のオートラン機能が ON になっていると、本製品が正常に動作しない場合があります。本製品を使用する PC では本製品によってオートラン機能が OFF となります。
・タイマー機能を使用する場合、PC のスリープ機能、休止機能、スクリーンセーバーはあらかじめ OFF に設定する必要があります。

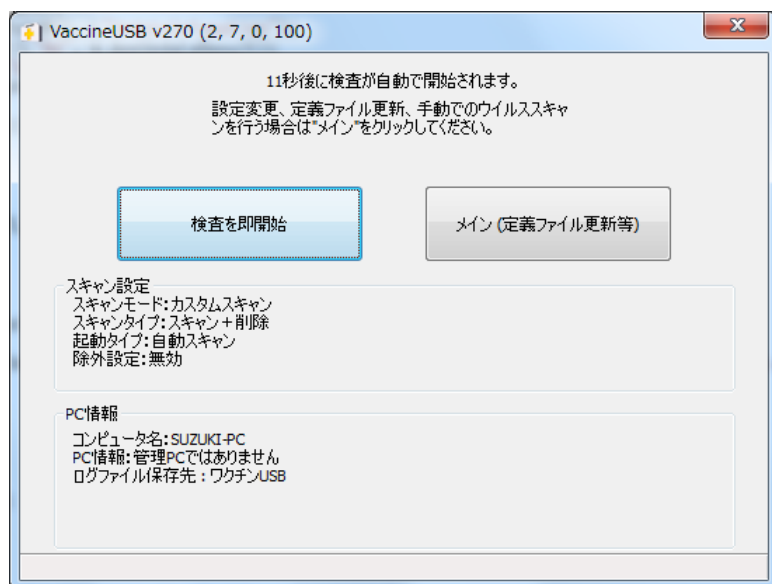
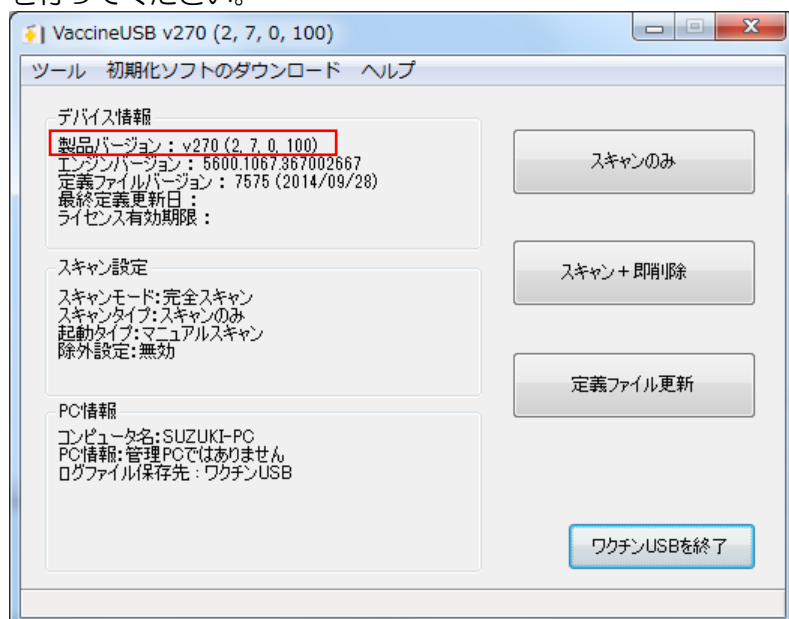
4 対応デバイスの確認方法

本製品は以下のバージョンのワクチン USB2 に対応しております。

対応デバイス	ワクチン USB2 ver270 以上 [型番：ULD-VAU21A/ULD-VAU23A/ULD-VAU-25A] ver270 以上 ※ULD-VA100MA はワクチン USB2 ソフトウェアにバージョンアップしていただければ使用可能です。

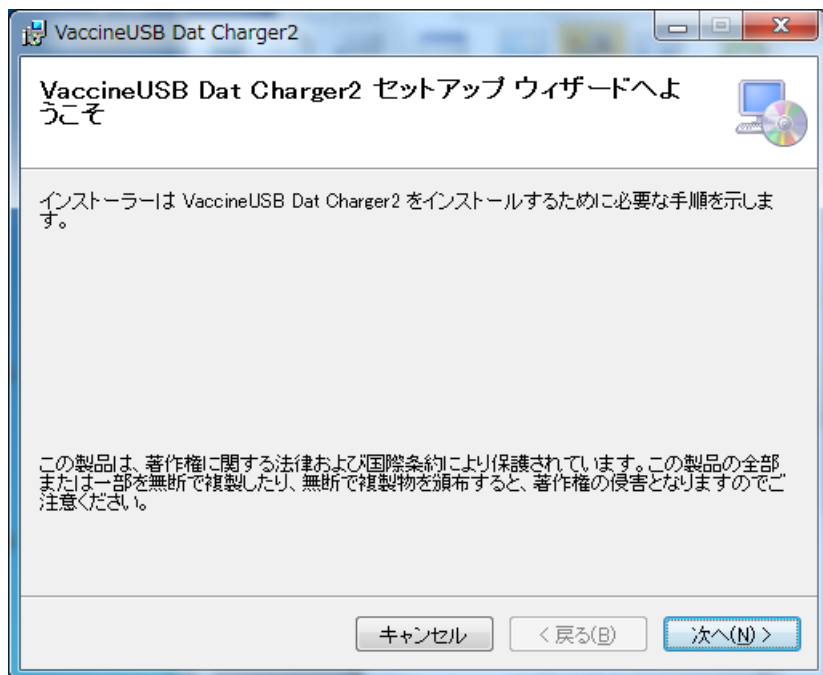
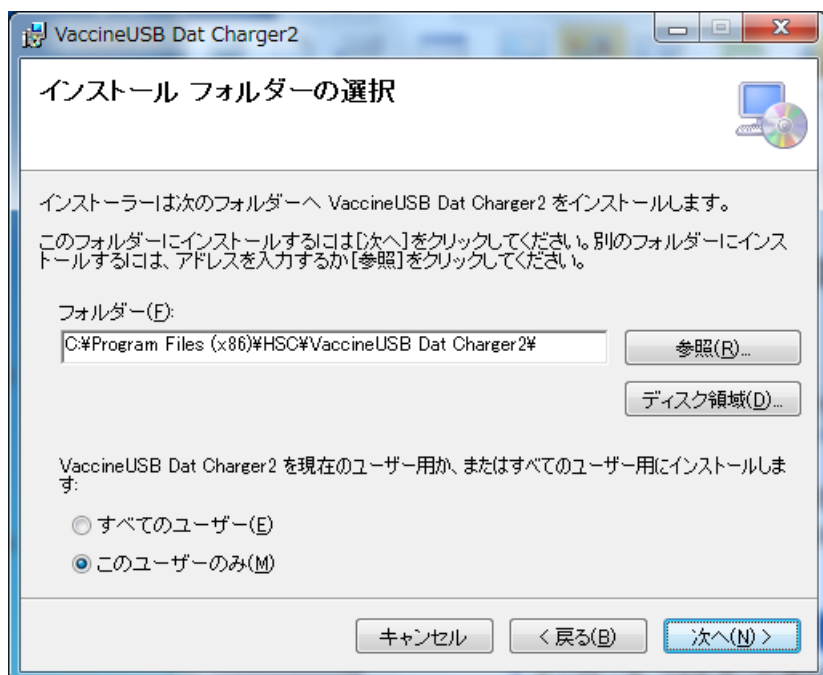
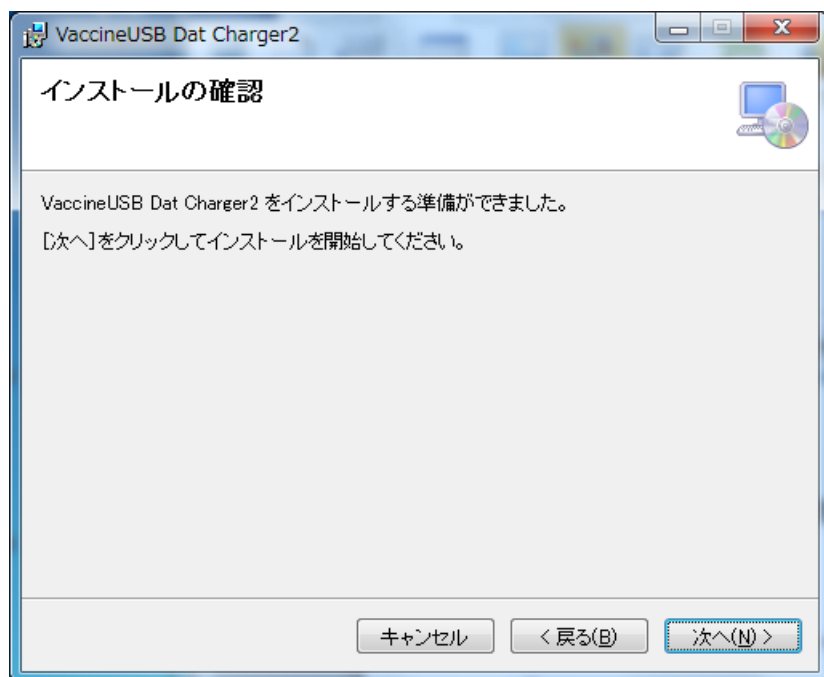
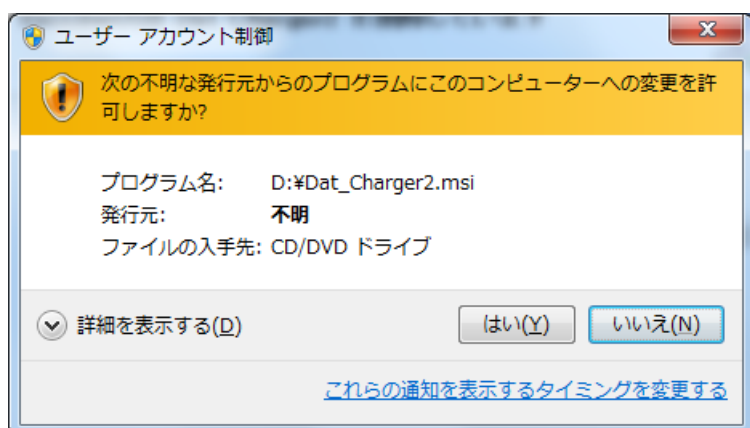
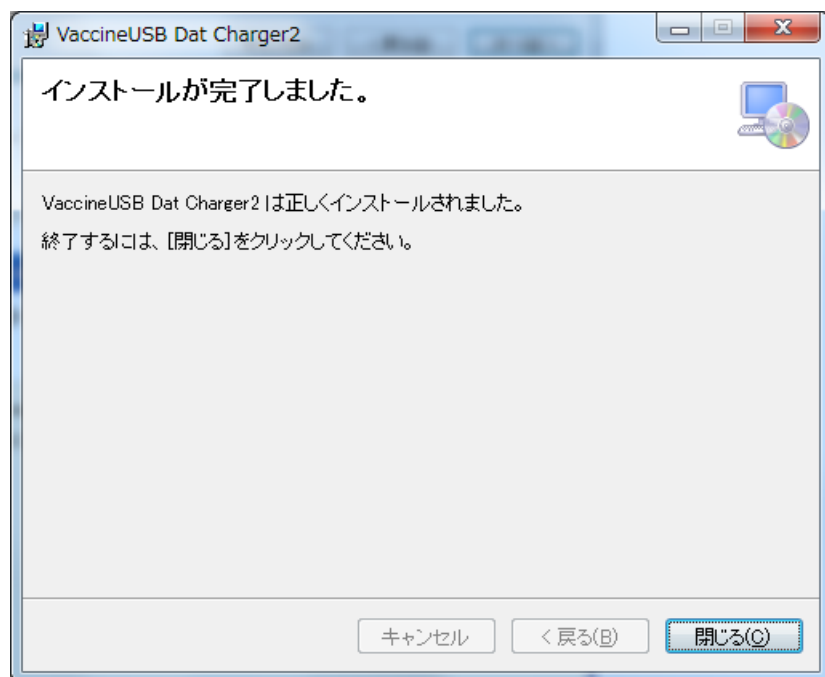
本製品はワクチン USB2 内のアップデート機能を使用します。本製品を使用してアップデートする各ワクチン USB2 がお使いの PC でアプリケーションおよび定義ファイルのアップデートができるか確認後、本製品に使用してください。

ワクチン USB2 のバージョン確認方法

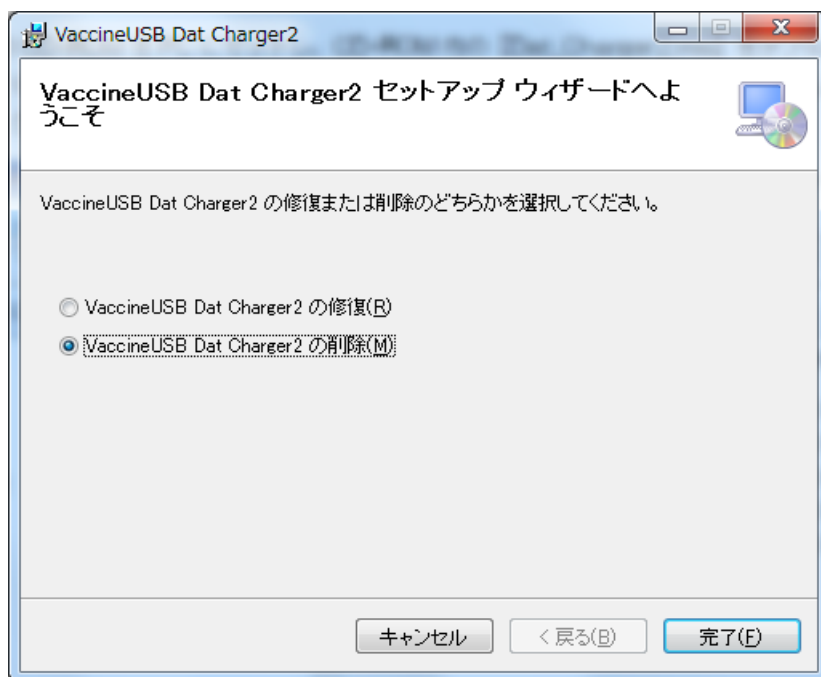
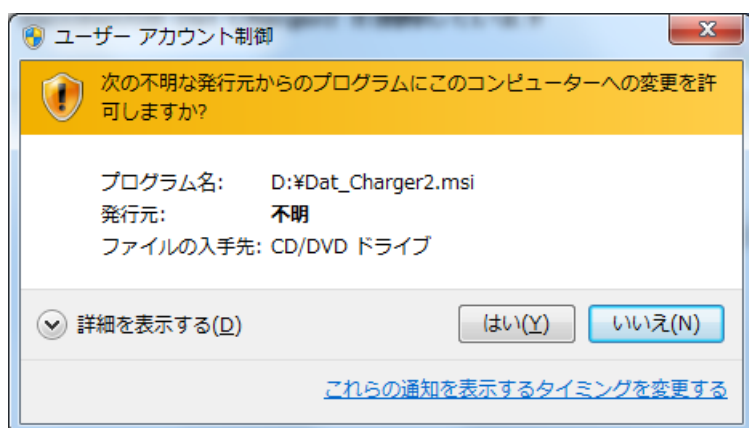
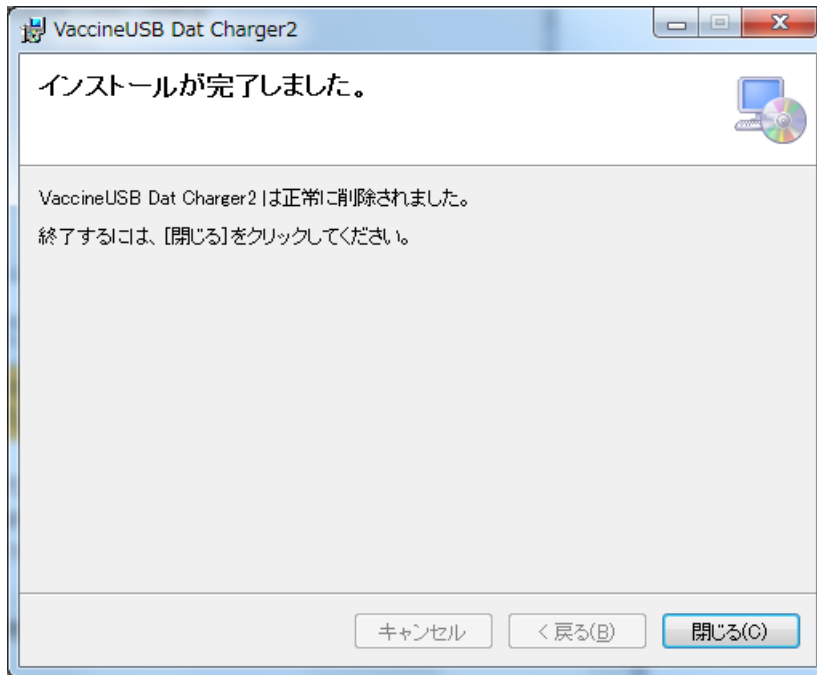
1：ワクチン USB2 を PC へ接続し、ワクチン USB2 を起動します。
2：次の画面が表示されたら、「メイン（定義ファイル更新等）」ボタンを押してください。

3：次の画面の製品バージョンを確認してください。バージョンが[270]以上であれば、本製品に対応したワクチン USB2 です。バージョンが[270]より下のワクチン USB はアプリケーションのアップデートを行ってください。

5　本製品のインストールとアンインストール

本製品のインストール及びアンインストールは以下の手順で行ってください。

インストール方法

1. 本製品の CD-ROM を PC にセットし、CD-ROM 内のファイル【Dat_Charger2.msi】をダブルクリックして実行してください。下図の画面が表示されるので、内容をご確認の上「次へ(N)」をクリックしてください。

3. インストール先のフォルダを変更する場合は、「参照(R)」をクリックしてインストール先を変更してください。インストール先を決定したら、「このユーザーのみ」を選択して「次へ(N)」をクリックしてください。

4.　「次へ(N)」をクリックするとインストールを開始します

5.　インストール中に、ユーザー アカウント制御の画面が表示された場合は、はいを押してください。

6．インストールが完了したら「閉じる」をクリックして終了してください。

アンインストール方法

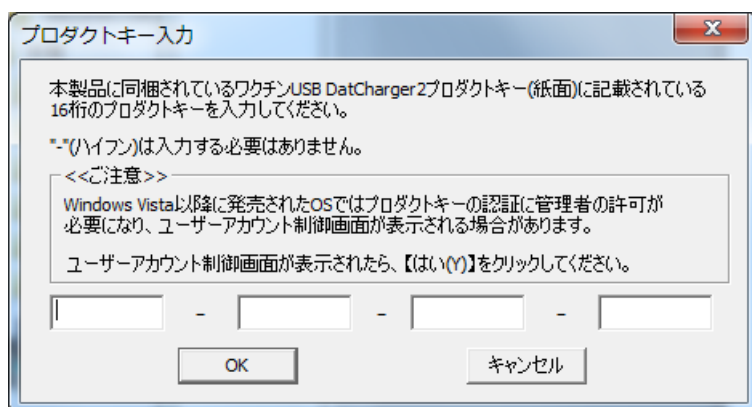
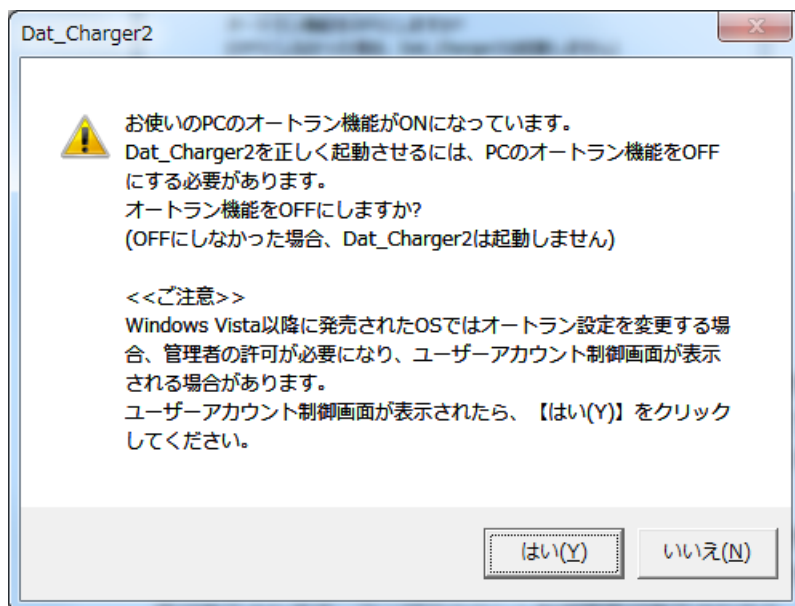
・アンインストールを行う際は、必ず本製品を終了させてから行ってください

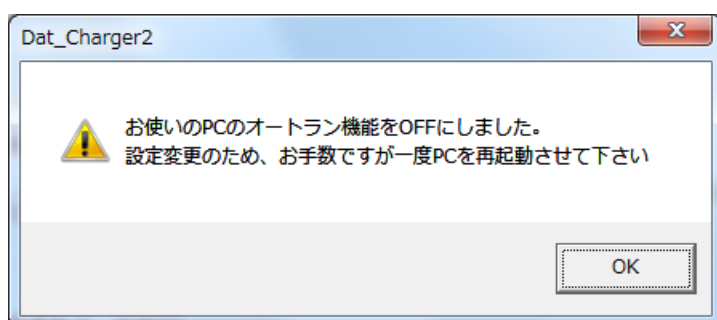
1. 本製品の CD-ROM を PC にセットし、CD-ROM 内の【Dat_Charger2.msi】をダブルクリックして実行してください。下図の画面が表示されるので、「VaccineUSB Dat Charger2 の削除(M)」を選択して「完了(F)」をクリックしてください。

2. アンインストール中に、ユーザー アカウント制御の画面が表示された場合は、はいを押してください。

3. アンインストールが完了したら「閉じる(C)」をクリックして終了してください。

本製品のログファイルはアンインストールを行っても PC に残ります。
ログを消すには、ログフォルダを開き、お客様自身で削除を行ってください。
ログフォルダの開き方は[11.アップデートログについて]をご覧ください。

6　本製品の実行

本製品は常駐型ソフトウェアです。お使いの PC の起動時に自動で実行されます。

1：デスクトップの【Dat_Charger2.exe】のショートカットか、インストールフォルダの【Dat_Charger2.exe】を実行してください。本製品のアイコンが画面右下のタスクトレイに登録されます。

2：初回はプロダクトキー入力画面が表示されます。
同封されているワクチン USBD DatCharger2 プロダクトキー（紙）に記載されているプロダクトキーを入力して、【OK】ボタンを押してください。

３：また初回起動時などに以下の画面が表示される場合があります。

本製品を使用する場合、アップデートが必要なワクチン USB を何度も PC に接続します。
その際、ワクチン USB2 は PC のオートラン機能により自動的にウイルススキャン処理を開始してしまいます。
このウイルススキャン処理の開始を防ぐため、本製品では PC のオートラン機能を無効にします。
問題が無い場合は【はい(Y)】を押してください。
【いいえ】を押した場合、DatCharger2 を実行することはできません。
Windows 7 でオートラン設定を変更する場合、管理者の許可が必要になり、ユーザアカウント制御画面が表示されます。ユーザアカウント制御画面が表示されたら、【はい(Y)】を押してください。

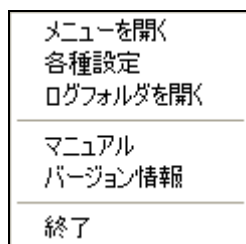
設定が完了すると、以下の画面が表示されるため、【OK】を押して PC を再起動してください。

オートランの設定を再度有効にする方法については[10.各種設定方法]をご確認ください。

7 メニュー表示

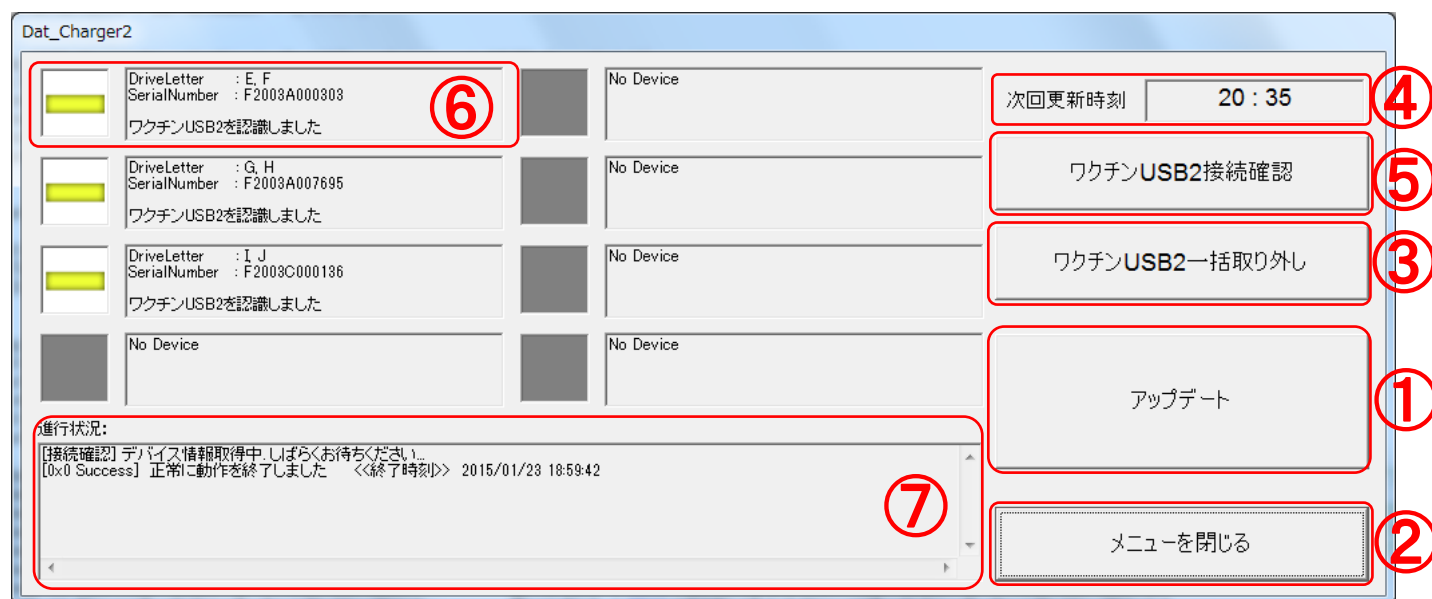
本製品を実行後、画面右下のタスクトレイに登録された右アイコンをクリックすると、下図のようなメニューが表示されます。

メニューを開く
各種設定
ログフォルダを開く

マニュアル
バージョン情報

終了

【メニューを開く】・・・・・ワクチン USB2 のアップデート結果を表示するメニューを開きます。
※製品の各種設定、ワクチン USB の取り外しなどもこのメニューから行います。
【各種設定】・・・・・・・・・アップデート時刻の設定や、プロキシサーバを使用する際のパスワード、オートラン設定などを設定します。
【ログフォルダを開く】・・・各ワクチン USB2 のアップデートログが保存されたフォルダを開きます。
【マニュアル】・・・・・・・・本製品のマニュアルを開きます。
【バージョン情報】・・・・・本製品のバージョン情報を表示します。
【終了】・・・・・・・・・・・本製品を終了します。

メニュー画面の説明

【メニューを開く】 を選択すると、下図の画面が表示されます。画面の見方は、以下の通りです。

① アップデート

このボタンをクリックするとワクチン USB2 のアップデートを即時開始します。

※タイマーによってアップデート処理が行われている間は使用できません。

② メニューを閉じる

メニュー画面を閉じます。**この操作では本製品は終了しません。**

本製品を終了するには画面右下のタスクトレイに登録されたアイコンをクリックし【終了】を選択してください。

③ ワクチン USB2 の一括取り外し

PC に接続されているワクチン USB2 を一括で取り外します。

※アップデート処理中は取り外しできません。

※ワクチン USB2 に対してのみ取り外し処理を行います。

※ワクチン USB2 の使用状況によっては、取り外せないことがあります。

④ 次回更新時刻

次回ワクチン USB2 のアップデートが行われる時刻が表示されます。

⑤ ワクチン USB2 接続確認

ワクチン USB2 が正常に接続されているかを確認します。このボタンを押し、アイコンが

(アップデート待機中)になれば正常にデバイスが認識されています。

ワクチン USB2 の接続数と の表示が一致しているかを確認してください。

⑥ ワクチン USB2 の情報

左側のアイコンが、ワクチン USB2 のアップデート状況を示します。

アイコン	意味
	アップデート待機中です。※
	アップデート中です。
	アップデートが成功しました。
	アップデートが失敗しました。

※ワクチン USB2 が待機中とならない場合は、[ワクチン USB2 接続確認]ボタンをクリックしてください。

タイマー設定されている時間となった際に待機中に変わります。

右側のテキストボックスはワクチン USB2 のデバイス情報と、アップデートが終了したときの成否を示します。

⑦ 進行状況

ワクチン USB2 のアップデート全体の進行状況や、取り外し処理の進行状況を表示します。

8 ワクチン USB2 アップデートの手順

本製品を用いてワクチン USB2 の定義アップデートを行う手順を説明します。

1.PC へのワクチン USB2 の接続

PC へ USB ハブを接続後、USB ハブへワクチン USB2 を接続してください。最大 8 本まで同時にアップデートが可能です。

※複数のワクチン USB2 をアップデートする際は 10 ポートタイプの USB2.0 ハブ(AC アダプタ付)をお使いください

正しいワクチン USB2 の接続方法

1 つの USB ハブの下のみにすべてのワクチン USB2 を接続する

以下の接続方法では正常にアップデートできません。

正しくないワクチン USB2 の接続方法

1 つの USB ハブ以外にワクチン USB2 を接続する

2 つ以上の USB ハブを使用してワクチン USB2 を接続する

PC へ直接ワクチン USB2 を接続する

USB ハブを段重ねで接続してワクチン USB2 を接続する

2. アップデートの設定及び実行

本製品を使用したアップデート方法には以下の３つがあります。

① ユーザが【アップデート】ボタンを押して即時アップデートを行う

ユーザが【アップデート】ボタンを押し、PC に接続されているワクチン USB2 のアップデート処理を行います。

② １日１回指定した時間にアップデートを行う

指定した時刻に PC に接続されているワクチン USB2 のアップデート処理を行います。

※初期設定は方法①の AM0:00 に設定されています。

※ウイルス定義ファイルサーバの定義ファイルの更新は一日に一回程度行われます。

③ 一定の時間間隔(1～4 時間設定可能)でアップデートを行う

指定した時間間隔毎に PC に接続されているワクチン USB2 のアップデート処理を行います。

各方法の説明を以下に説明します。

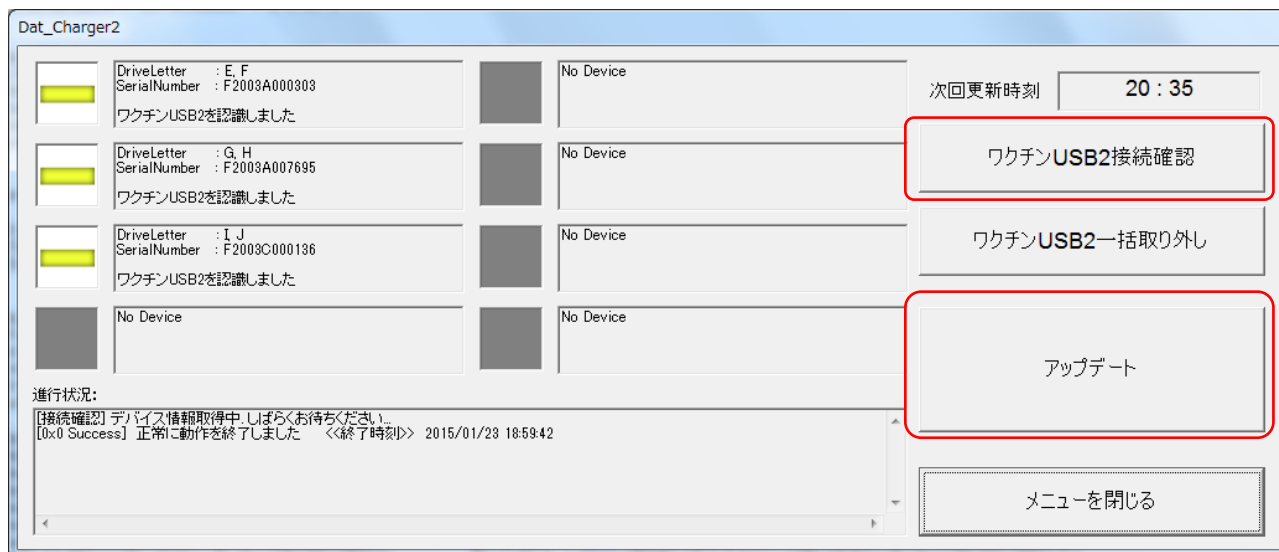
方法①の実行方法：ユーザが即時アップデートを行う方法

1：メニュー画面より【ワクチン USB2 接続確認】ボタンを押し、接続されているワクチン USB2 数と画面に表示される アイコン 数が一致していることを確認してください。

※ 一致していない場合はワクチン USB2 または PC に何かしら問題がある可能性があります。

2：【アップデート】ボタンを押してください。

PC に接続されているワクチン USB2 に対してアップデートが開始されます。

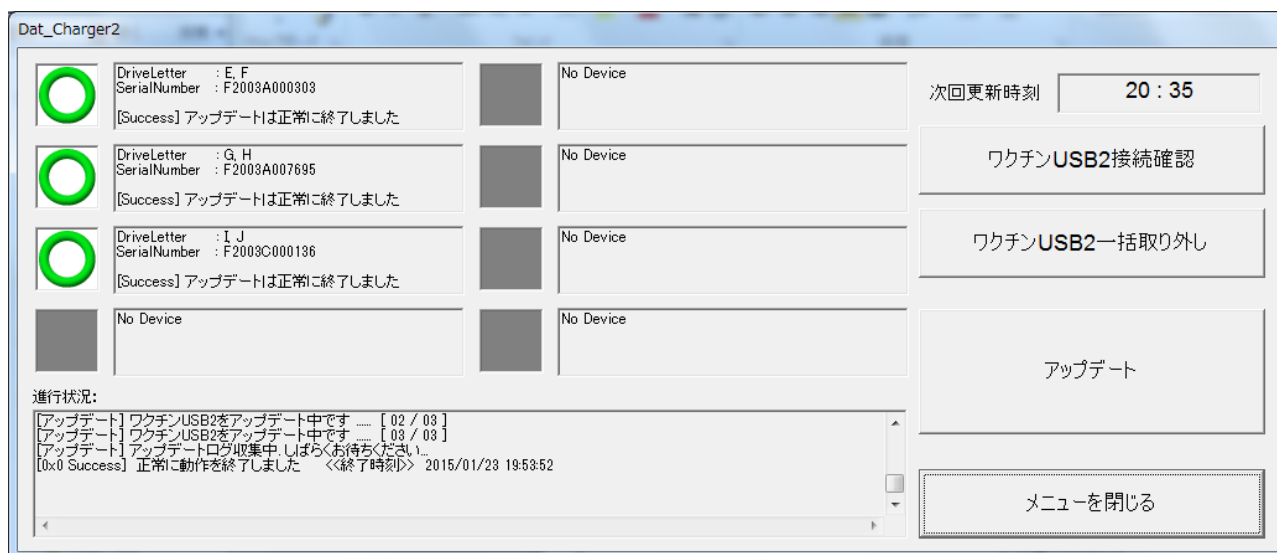
※ タイマーによるアップデート処理が行われている間は、アップデートはできません。

３：アップデートを実行中のワクチン USB の状態

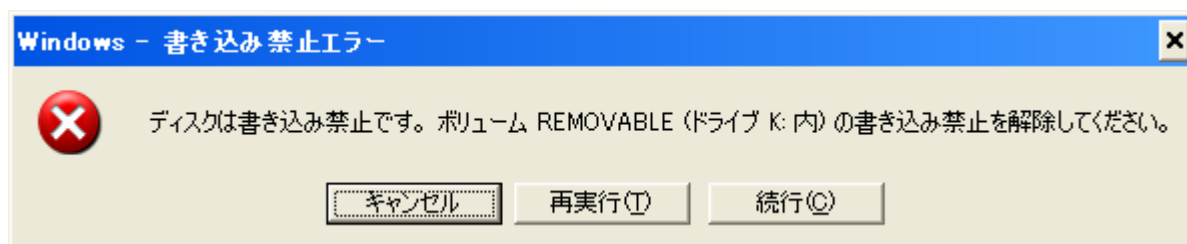
ワクチン USB2 のアップデートが始まると、ワクチン USB2 の LED は緑色の点滅状態となります。
アップデートが完了すると、以下のように LED が変化します。

赤 LED	青 LED	意味
消灯	点灯	アップデートが完了しました。
点灯	消灯	アップデートが失敗しました。
消灯	消灯	アップデート処理前のワクチン USB

４：アップデート完了時の本製品の状態

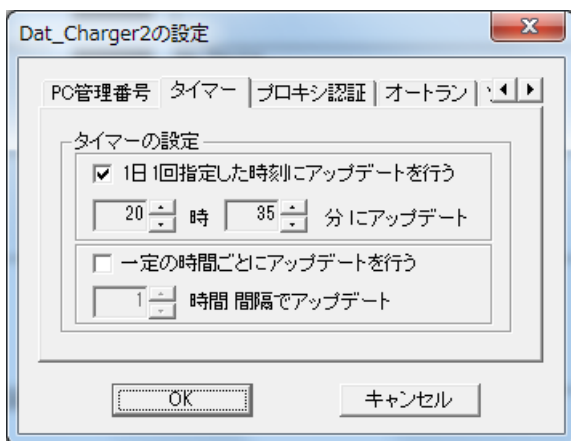
全てのワクチン USB のアップデート処理が終了すると、以下の状態になります。

- 接続しているすべてのワクチン USB2 の LED が緑色に点灯した状態になります。
- メニュー画面にアップデート結果(○ ×)が表示されます。

アップデートが完了したらメニュー画面の【ワクチン USB2 一括取り外し】ボタンをクリック後、PC からワクチン USB2 を取り外してください。
以上で定義ファイルのアップデート処理は終了です。続けて別のワクチン USB2 をアップデートする場合は、PC へワクチン USB2 を接続してください。

※ご注意：アップデート中に下図の画面が表示される場合があります。
下図の画面が表示されたら、[キャンセル]をクリックしてください。

方法②：１日１回指定した時刻にアップデートを行う設定方法

方法②のアップデート時刻の変更はタスクトレイメニューの【各種設定】より変更できます。

１：各種設定ボタンを押し、設定画面でタイマータブを選択してください。

２：下記画面の【１日１回アップデートを行う】にチェックを入れ、開始時間を設定してください。

３：アップデート開始時間の設定後、【OK】ボタンを押してください。

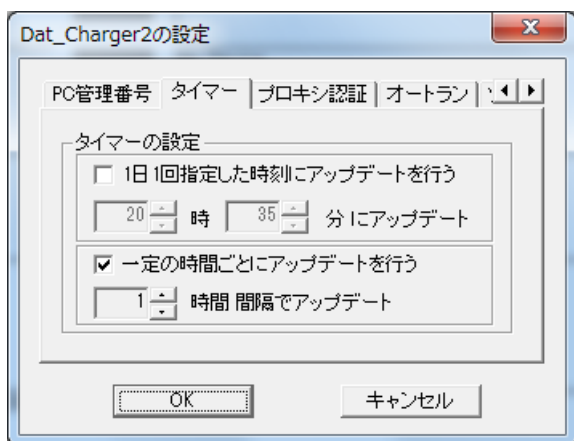
設定が完了し、指定時刻にアップデートが開始されます。

※ 開始時刻にユーザによってアップデートが行われている場合、現在行われているアップデートを優先します。

方法③の設定：一定の時間間隔でアップデートを行う設定方法

方法③のアップデート間隔変更はタスクトレイメニューの【各種設定】より変更できます。

1：【各種設定】ボタンを押し、設定画面でタイマータブを選択してください。

2：下記画面の【一定の時間ごとにアップデートを行う】にチェックを入れ、アップデート開始する間隔を設定してください。設定が可能な間隔は１～４時間間隔です。

3：アップデート間隔時間を設定後、【OK】ボタンを押してください。
　設定が完了し、指定間隔後にアップデートが開始されます。

例）２時間間隔設定で 16 時 30 分に【OK】ボタンを押した場合、18 時 30 分、20 時 30 分、22 時 30 分… にアップデートが開始されます。

※ 開始時刻にユーザによってアップデートが行われている場合、現在行われているアップデートを優先します。

9 アップデートに失敗したワクチン USB2 の対処方法

アップデートに失敗したワクチン USB2 の対処方法を記載します。

アップデートに失敗したワクチン USB2 の見つけ方

ワクチン USB2 の裏面に記載されているシリアル番号と本製品のメニュー画面のアップデート結果が❌になっている SerialNumber をワクチン USB2 の裏側記載番号と照らし合わせてください。

アップデートに失敗したワクチン USB は LED が赤点灯しています。

アップデートに失敗したワクチン USB2 の対処方法

本製品のメニュー画面に表示されるエラーメッセージ別の対処方法は以下になります。

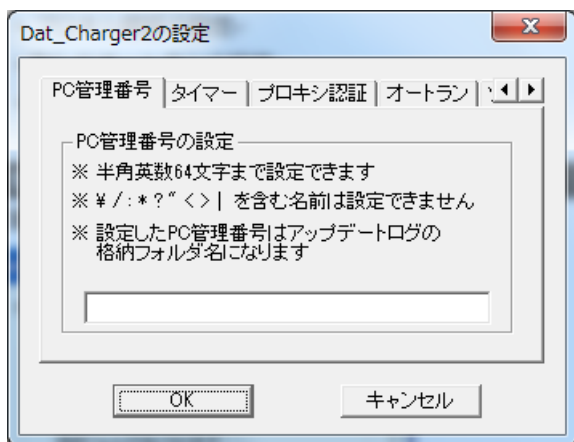
メニュー画面のエラーメッセージ	対処方法
アップデートに失敗しました	ワクチン USB2 の定義ファイルがダウンロードできない環境である可能性があります。 ネットワークが接続されているか確認してください。 ・ワクチン USB2 の場合 PC にプロキシサーバを設定している場合、プロキシサーバ設定が正しくされているか確認してください。 またユーザ ID とパスワードが必要なプロキシサーバの場合、本製品の各種設定でユーザ ID とパスワードが正しく設定されているか確認してください
ワクチン USB が本ソフトに対応していません	ワクチン USB2 が古いバージョンのため本製品に対応していません。ワクチン USB2 をアップデートしてください。 アップデート方法は本書の[4.対応デバイスの確認方法]のワクチン USB2 のアプリケーションのアップデート方法をご覧ください。
ワクチン USB2 のライセンス期限が切れています	ワクチン USB2 のライセンスが切れています。 お客様の管理者に問い合わせ、ワクチン USB2 のライセンスの更新を行ってください。

10 各種設定方法

タスクトレイメニューの「各種設定」をクリックすると、本製品の設定ができます。
本製品で設定できる項目は以下になります。

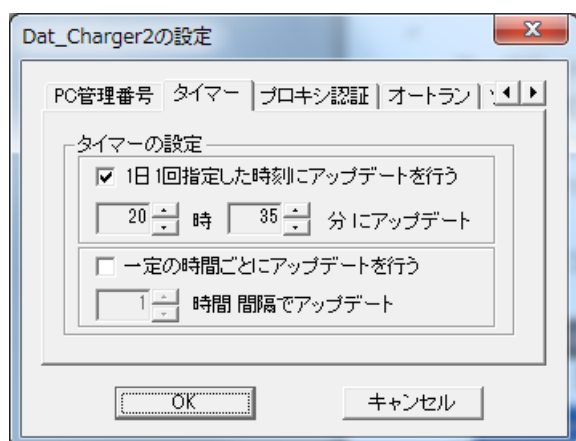
- PC 管理番号の設定
- タイマーの設定
- プロキシ認証の設定
- PC のオートランの設定
- ソフトウェアアップデートの設定

PC 管理番号の設定

設定画面で【PC 管理番号】タブを選択してください。

アップデートログフォルダに使用する番号を設定できます。
お使いの PC の名前や管理番号を半角英数 64 文字まで入力できます。入力した管理番号はアップデートログフォルダのフォルダ名になります。どの PC でアップデートを行ったかを判別するためにご使用ください。
入力しなかった場合、お使いの PC の日付がログフォルダ名になります。

※ログの仕様につきましては[11.アップデートログについて]をご覧ください。

タイマーの設定

設定画面で【タイマー】タブを選択してください。

ワクチン USB2 のアップデートを行う時間を設定できます。タイマーには２つの種類があります。

① １日１回指定した時間にアップデートを行う

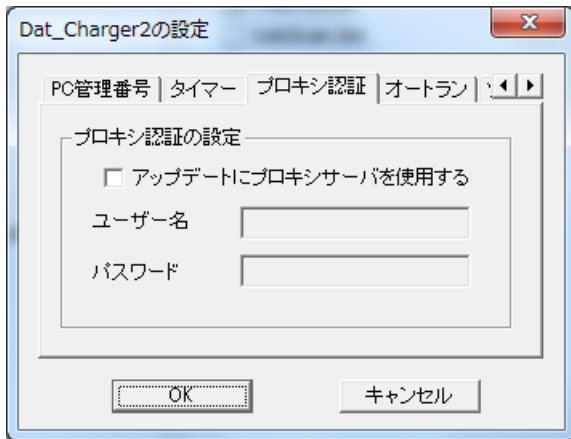
②一定の時間間隔でアップデートを行う

※設定が可能な間隔は１～４時間間隔です。

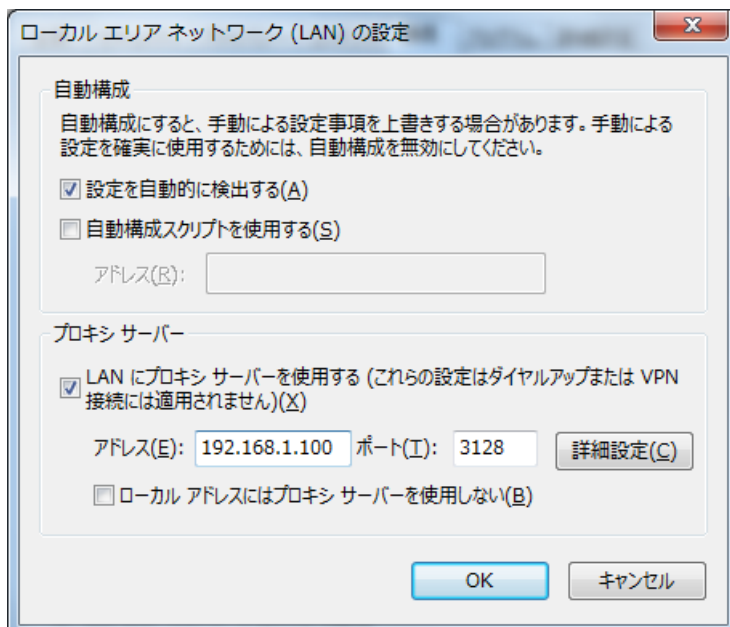
例）２時間間隔設定で 16 時 30 分に【OK】ボタンを押した場合、18 時 30 分、20 時 30 分、、、、にアップデートが開始されます。

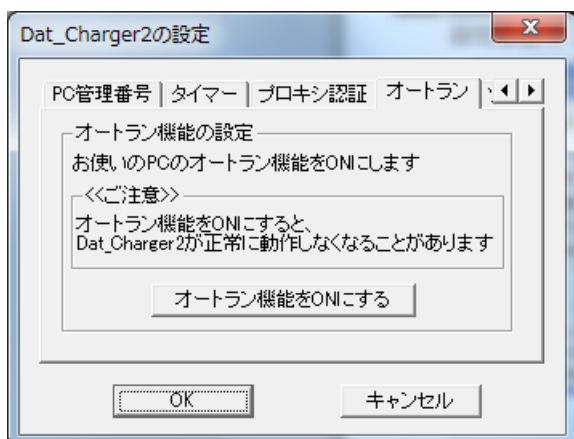
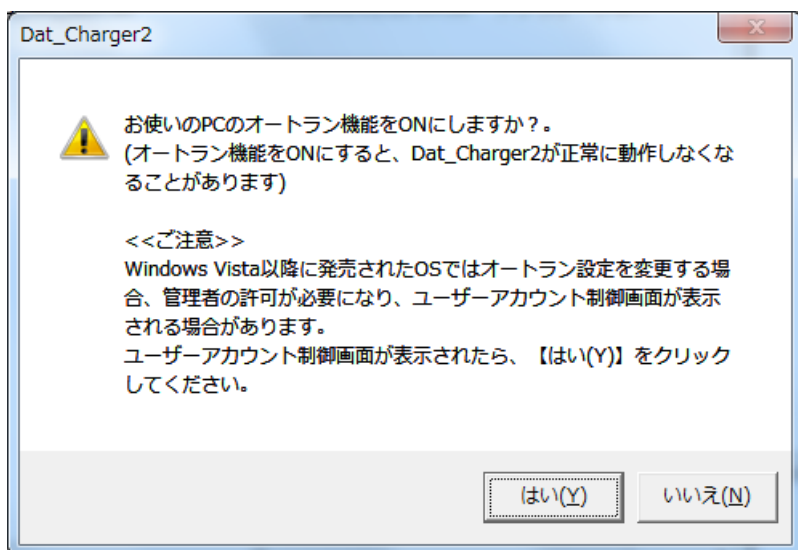
※初期設定では「1 日 1 回、0：00 にアップデートを行う」設定になっています。

プロキシ認証の設定

設定画面で【プロキシ認証】タブを選択してください。

ワクチン USB のアップデートに使用するプロキシのユーザ ID、パスワードを設定します。
ワクチン USB のアップデートにプロキシサーバを用いる場合は、「アップデートにプロキシサーバを使用する」にチェックを入れ、プロキシサーバのユーザ ID とパスワードを入力してください。
接続するプロキシサーバの設定は、InternetExplorer の設定を使用します。

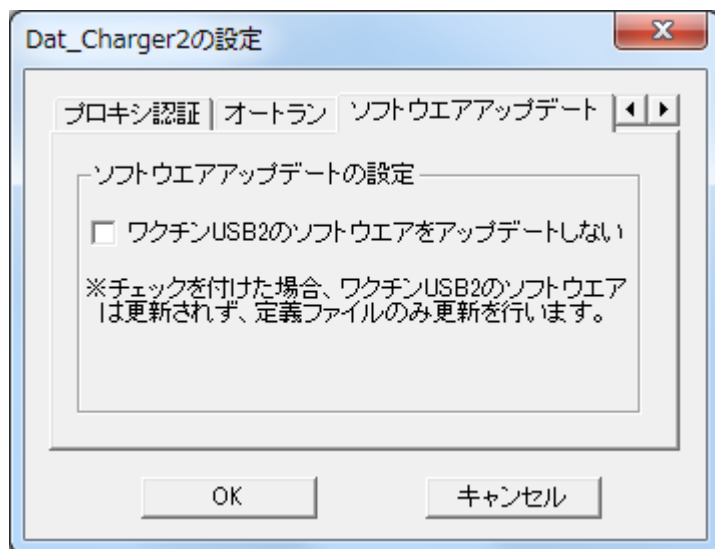
• Internet Explorer のプロキシサーバ設定方法(Internet Explorer11 の場合)

Internet Explorer の「インターネットオプション」を開き、「接続」タブにある「LAN の設定」ボタンをクリックします。
使用するプロキシサーバのアドレスとポート番号を設定します。

PC のオートランの設定

設定画面で【オートラン】タブを選択してください。

PC のオートラン機能設定ができます。本設定項目ではオートラン機能を ON にできます。
ON にする場合【オートラン機能を ON にする】ボタンを押してください。
お使いの PC のオートラン機能が OFF になっている場合、下図のような画面が表示されます。
「はい(Y)」をクリックすると、オートラン機能が ON になります。

※Windows Vista 以降に発売された OS でオートラン設定を変更する場合、管理者の許可が必要になり、ユーザアカウント制御画面が表示されます。ユーザアカウント制御画面が表示されたら、【はい(Y)】クリックしてください。

注意：本製品は、オートラン機能が OFF 時のみ使用可能なため、本製品のアンインストール時のみオートラン機能を ON にしてください。オートラン機能が ON になっていると、本製品が正常に動作しない可能性があります。
オートラン機能の OFF 設定は本製品起動時に行われます。詳細は項[6.本製品の実行]をご覧ください。

ソフトウェアアップデートの設定

設定画面で【ソフトウェアアップデート】タブを選択してください。

ワクチン USB2 のソフトウェアアップデートの機能設定ができます。

本設定項目ではソフトウェアのアップデートを停止することができます。

ソフトウェアのアップデートを停止する場合、【ワクチン USB2 のソフトウェアをアップデートしない】にチェックを入れてください。

ソフトウェアのアップデートを停止すると、定義ファイルのみをアップデートします。

11 アップデートログについて

アップデートが終了すると、PC へログが保存されます。
タスクメニューの「ロゴフォルダを開く」をクリックするとログが保存されているフォルダを開きます。

ログは以下の２種類が保存されます。
・本製品がワクチン USB のアップデートを行った時刻を記録するログ
・ワクチン USB2 一本毎のアップデートログ

本製品がアップデートを行った時刻を記録するログについて

ログ内容：本製品がアップデートを行った事項が記載されています。本ログによって、いつ本製品が実行されたかを確認できます。

ファイル名：Dat_Charger2.log
本ログに以下の内容が記載されています。

Start	1本目のワクチン USB のアップデートを開始した時刻(“年月日時分秒”)
End	最後のワクチン USB のアップデートを終了した時刻(“年月日時分秒”)
Result	アップデート結果(弊社管理用ログ)

ワクチン USB2 一本毎のアップデートログについて

ログ内容：本製品によってアップデート処理が行われたワクチン USB2 のログが記載されています。本ログによって各ワクチン USB2 の状態を確認できます。

保存フォルダ名：”各種設定の PC 管理番号”_”年月日”
例 ： PC 管理番号”HSC”に設定し、2015/1/2 にアップデートを行った場合 → HSC_20150102

ファイル名：UDAutoUpdate_”年月日時分秒 ＋ ワクチン USB のシリアルナンバー”
例 ： シリアルナンバーABCDEFGHIJKL のワクチン USB が、2015/01/02 12：34：56 にアップデートされた場合
→ UDAutoUpdate_20150102123456ABCDEFGHIJKL.ini

本ログに以下の内容が記載されています。

DeviceSerialNo	ワクチン USB のシリアルナンバー
UpdateDate	アップデートした時刻(“年月日時分秒”)
OldDatVersion	アップデート前の定義ファイルバージョン
NewDatVersion	アップデート後の定義ファイルバージョン（アップデートがあった場合のみ）
OldSoftwareVersion	アップデート前のソフトウエアバージョン
NewSoftwareVersion	アップデート後のソフトウエアバージョン（アップデートがあった場合のみ）
Result	アップデート結果(弊社管理用ログ)

12 本製品のマニュアルについて

本製品のマニュアルはタスクメニューの「マニュアル」をクリックすると開きます。
本製品のマニュアルは PDF ファイルのため、PDF ファイルを開ける環境で実行してください。

13 サポート・メンテナンス

本製品には、技術サポート、アプリケーションプログラムのマイナーアップデートのサポートをご用意しております。

サポート・メンテナンスの内容

項目	サポート・メンテナンスの内容
製品	ワクチン USB Dat Charger2
サポート内容	技術サポート アプリケーションプログラムのマイナーアップデート※1 サポート期間は 1 年

お問合せ窓口

ご連絡先			受付
株式会社ハギワラソリューションズ	電子メール	vsolsupport@hscjpn.co.jp	24 時間受付

◆掲載されている商品の仕様・外観、およびサービス内容等については、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

◆Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

◆その他掲載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中には®および ™ マークは明記しておりません。

ワクチン USB DatChager2 取扱説明書
2015 年 2 月 Ver1.0.0 発行
発行元　株式会社ハギワラソリューションズ